

株主のみなさまへ



第111期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

INDEX

宝グループ概要	1
社長メッセージ	2
TOPICS	3
業績ハイライト	5
会社情報	6



宝ホールディングス株式会社

証券コード：2531



宝ホールディングス
グループ経営の統括

和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を提供する



宝酒造(国内事業)

売上構成比
40.8%

主な
事業内容

焼酎、清酒、ソフトアルコール飲料、
本みりん、食品調味料、原料用アル
コールなどの製造・販売

今後の戦略

和酒No.1メーカーの
ポジションを活用した
付加価値経営への変革



宝酒造インターナショナル
グループ(海外事業)

売上構成比
33.1%

主な
事業内容

酒類・調味料などの輸出および
海外子会社での製造販売、
海外の日本食材卸子会社における
酒類・食品などの輸入・販売

今後の戦略

国内事業との協業と
国内外でのグループシナジーの
さらなる発揮



タカラバイオグループ
(バイオ事業)

売上構成比
22.3%

主な
事業内容

研究用試薬・理化学機器などの
製造・販売、受託サービス、
遺伝子医療事業

今後の戦略

研究用試薬・機器事業と
CDMO事業を通じた
バイオ創薬基盤技術の開発



2022年3月期第2四半期累計期間売上構成比

長期経営構想 「TaKaRa Group Challenge for the 100th」

▶ Vision (ありたい姿)

笑顔で繋がる豊かな暮らしを
～Smiles in Life～

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって、和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで、人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献を目指します。

▶ 事業戦略

宝酒造

国内の和酒No.1メーカーのポジションを活用した付加価値経営への変革によって、着実に利益成長できる事業基盤を再構築し、企業イメージを向上させてグローバル和酒No.1企業^(※1)としての根幹を支える。

※1: 国内+海外(輸出+現地生産)で和酒No.1

宝酒造インターナショナルグループ

グローバルな和酒の拡大を加速させるとともに、海外日本食材卸のネットワークの拡充を進めながら、国内外でのグループシナジーをさらに発揮し、海外における和酒・日本食材No.1企業^(※2)を目指す。

※2: 海外(輸出+現地生産)和酒No.1+海外日本食材卸No.1

タカラバイオグループ

研究用試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティ(治療法)を創出し続ける創業企業を目指す。

宝グループ
中期経営計画2022

■ 基本方針

環境変化の兆しを掴みとり、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固める。

社長メッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配をたまり厚くお礼申し上げます。

ここに、第111期第2四半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の宝グループ事業概況などについてご報告申し上げます。

■ 2022年3月期第2四半期累計期間の業績概況

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、宝酒造では、新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言期間が継続したことにより、飲食店向けの販売が低迷したことや、缶チューハイの自主回収の影響もあり、減収となりました。宝酒造インターナショナルグループは、飲食店向け販売の回復を受け、海外酒類事業、海外日本食材卸事業ともに好調に推移したことに加えて、コロナ禍で取り組んだ小売店やネット通販等の販売ルートが拡大したこともあり、増収となりました。タカラバイオグループでは、新型コロナウイルスPCR検査関連製品の伸長に加え、一般研究用の試薬も回復基調にあることから増収となり、グループ全体の売上高は1,412億1,300万円(前期比10.5%増)となりました。

利益面では、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループともに売上高の増加などにより増益となり、宝酒造が経費削減に努めたことで増益となったことで、グループ全体の営業利益は、216億1,600万円(前期比273.8%増)、経常利益は218億8,400万円(前期比268.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は100億5,000万円(前期比263.9%増)となり、第2四半期累計期間では、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも過去最高を更新しました。

(セグメント別の売上高および営業利益につきましては、5ページをご覧ください。)

■ 2022年3月期通期の業績予想と今後の事業戦略について

通期の業績予想につきましては、宝酒造が減収に加えて原料高などのコストアップもあり減益となるものの、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループ



代表取締役社長

木村 睦

が好調で、増収増益となる見通しです。グループ全体でも増収増益となり、売上高、各利益項目で過去最高となる見通しです。

また、配当予想につきましては、配当性向で30%台後半となる安定的な配当を継続するという方針に基づき、前期から8円増配の1株当たり29円としております。

今後に向けては、宝酒造では、家庭用の主力ブランドや高付加価値商品の品質訴求強化、新ブランド“タカラcan チューハイ「すみか」”の育成により、利益率の向上を目指します。宝酒造インターナショナルグループでは、飲食店に対する販促提案や、小売店など新たな販売ルートの拡大とともに、商品ラインアップの強化に取り組めます。タカラバイオグループでは、強みのPCR技術開発力を活かした一般研究用試薬や、再生医療等製品、遺伝子解析・検査関連受託の拡大と、遺伝子治療薬や創薬基盤技術の開発を進めます。

■ 企業価値の向上に向けて

当社グループは、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループという3つの事業をグローバルに展開しております。

今後もさまざまな環境変化が訪れることが予想されますが、3つの事業セグメントがしっかりと自立し、それぞれの事業を通じた社会的価値を創造していくことで、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご支援をたまりますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2021年12月

宝ホールディングス

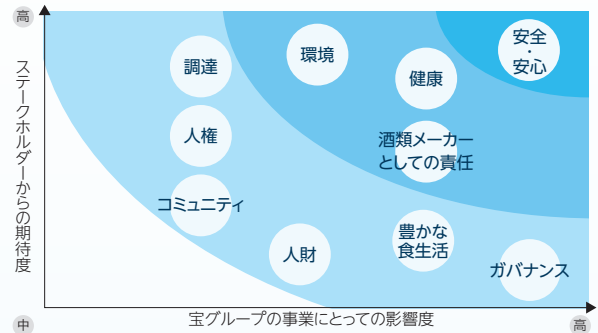
「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」を策定しました

宝グループでは、2021年6月に「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン(以下、サステナビリティ・ビジョン)」を策定しました。

サステナビリティ・ビジョンは、2020年5月に策定した「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」に基づく社会課題への取り組みについて、マテリアリティごとに具体的な中長期目標を設定したものです。

当社グループは、これからも事業活動を通じた社会価値の創造により、ステークホルダーの皆様から信頼される企業グループを目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」に掲げる10の重要課題(マテリアリティ)



主なマテリアリティの目標

環境

様々な自然の恩恵のもとで事業活動を行う当社グループにとって豊かな自然環境が保たれることは、事業継続をするうえでの大前提です。宝グループでは、気候変動問題をはじめとする環境課題に対処すべく、取り組みを進めています。



【2050年度】
グループ全体

宝グループ連結でCO₂排出量を実質ゼロにする。

【2030年度】
宝酒造
宝酒造国際グループ

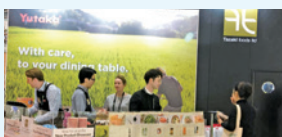
生産拠点におけるCO₂排出量を2018年度比で46%削減する。

タカラバイオグループ

CO₂排出原単位(売上高当たりのCO₂排出量)を2018年度比で50%削減する。

豊かな食生活

グローバル和酒No.1企業としてのプレゼンスと、海外での日本食材卸ネットワークを活かして、和酒・日本食の価値や魅力を高め、人と人の繋がりにあふれた豊かな食生活を世界中にお届けします。



展示会の様子(イギリス)



海外専用商品の「寶 和りきゅー」シリーズ

宝酒造国際グループ

日本食の海外でのさらなる浸透を図るべく、各地で開催される展示会への出店や情報発信、日本食料理人の育成などに取り組む。

宝酒造国際グループ

2025年度までに海外専用商品、海外事業会社商品10アイテムを開発する。

酒類メーカーとしての責任

酒類の製造・販売を行う企業として、アルコール関連問題への対応を重要な責任と考え、健全な酒類文化の発展のために、社会に働きかけを行います。



ウェブサイトでの純アルコール量表示(お客様相談室ウェブサイト)

純アルコール量* (1本あたり)
16g (250ml)
22g (350ml)
32g (500ml)
16g (250ml)
22g (350ml)

宝酒造

ウェブサイトに主な商品の純アルコール量を開示する。

純アルコール量:20g (350ml当たり)

商品パッケージへの純アルコール量表示(タカラ「焼酎ハイボール」)



宝酒造

2025年度までに、国内で販売するすべての消費者向け商品(酒類調味料除く)に純アルコール量を表示する。

健康

遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発や関連するサービスの提供、健康に配慮した商品の開発など、人々が健康的な生活を継続して楽しむことのできる社会づくりに取り組んでいきます。



タカラバイオグループ

安定的な製品供給に向けて、日本・中国・米国・欧州等の主要拠点の製造施設の整備を進め、最適化を図ることで、ライフサイエンス研究の発展をグローバルで支援する。

タカラバイオグループ

セミナー・ワークショップ開催を通じ、バイオテクノロジーの基礎から最新技術の普及を図る。

詳細は、宝ホールディングスウェブサイト「宝グループのサステナビリティ」をご覧ください。
<https://www.takara.co.jp/sustainability/index.html>





宝酒造

タカラcanチューハイ「すみか」新発売

宝酒造は、すみきった果実感で甘くないアルコール分5%のチューハイ、“タカラcanチューハイ「すみか」”を9月より発売しました。果汁を搾った後、廃棄されることが多い果皮などから独自技術により抽出した“国産フルーツエッセンス”を使用することで、甘さを抑えながらすっきり爽やかな果実感のある味わいを実現しました^{※1}。また、ベースアルコールには宝酒造独自の“樽貯蔵熟成焼酎”^{※2}を使用しており、国産フルーツエッセンスの風味が活きた、ほどよいお酒感をお楽しみいただけます。ネーミングは、「すみきった果実感」ある味わいと「住処(すみか)＝おうちを楽しんでほしい」という想いから“すみか”と名付けました。

※1「果実感が引き立ちながらも、すっきりとして飲み飽きない味わいを付与する技術」として特許出願中。

※2 宮崎県高鍋町にある当社焼酎工場「黒壁蔵」では、原料や発酵・蒸留・貯蔵方法の違いにより様々な個性を持った「樽貯蔵熟成酒」を約85種類・約2万樽保有している。それらを35度以下にして焼酎規格にしたもの。目指す味わいに向け、商品ごとに配合を変えてブレンドしている。

アルコール分5%で甘くなく、国産果実素材を無駄なく有効利用した“ちょっとエシカル”な新ブランド“タカラcanチューハイ「すみか」”により、辛口チューハイ市場のさらなる活性化を目指します。



左から“タカラcanチューハイ「すみか」<#国産レモン>” “同<#国産ゆず>” “同<#国産ぶどう>”



宝酒造インターナショナルグループ

輸出専用の日本酒「L'ATELIER DU SAKE」がフェミニリーズ世界ワインコンクールで金賞受賞

宝酒造インターナショナルと宝グループの一員で欧州最大の日本食材卸会社である「フーデックスグループ」が共同開発した輸出専用の日本酒“「L'ATELIER DU SAKE(アトリエ・デュ・サケ)「大吟醸」”が、第15回「フェミニリーズ世界ワインコンクール2021」の大吟醸部門で金賞を受賞しました。

2007年から毎年パリで開催されている同コンクールは、審査員全員が女性ソムリエや女性醸造家などの女性ワイン専門家で、世界的にも知名度が高まっているコンクールです。日本酒が世界的に注目されていることを受け、2020年より「日本酒部門」が新設されました。

15回目となる今回は、世界10か国から、日本酒、ワイン、リキュールの計5,246銘柄が出品され、750名の審査員によるブラインド方式の厳正な審査を経て、各賞が決定されました。

今回、同コンクールで“「L'ATELIER DU SAKE」<大吟醸>”の金賞受賞を契機に、同商品の欧州市場での拡売を進めるとともに、世界で人気の日本食とともに拡大する日本酒文化のさらなる浸透に努めてまいります。



金賞受賞のディプロマ(証明書)



タカラバイオグループ

新型コロナウイルスの変異遺伝子や下水からの検出試薬発売

ウイルスの遺伝子変異は、感染性、病気の重篤度に影響を与え、ワクチンの効果を弱める可能性があります。そのため、新型コロナウイルス変異株の感染状況は特に厳重に監視され、影響度が評価されています。

タカラバイオは、新型コロナウイルスのアルファ株、デルタ株などの代表的な変異株の遺伝子変異検出用PCR試薬を開発、販売しています。また、その変異株の確定検査である全ゲノム解析を受託し、変異株研究を強力に支援しています。

さらに、大学の研究グループと共同で、地域の感染状況を調査するために、下水中に存在する新型コロナウイルスの

遺伝子を調べるPCR検査法を開発し、検査キットとして発売しています。

タカラバイオでは引き続き、PCR技術、遺伝子工学技術を通して、新型コロナウイルス感染症対策に貢献してまいります。

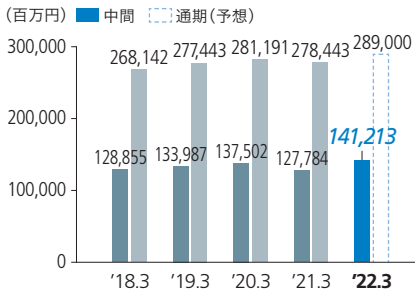


SARS-CoV-2 Detection RT-qPCR Kit for Wastewater

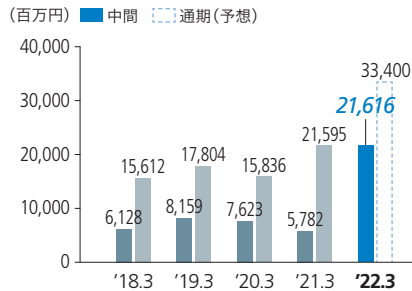
業績ハイライト

宝グループ連結

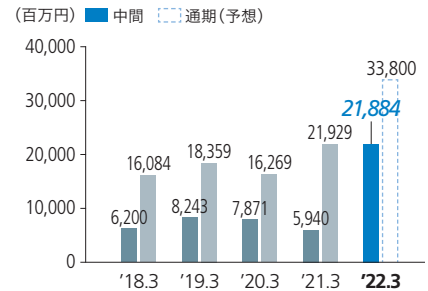
売上高



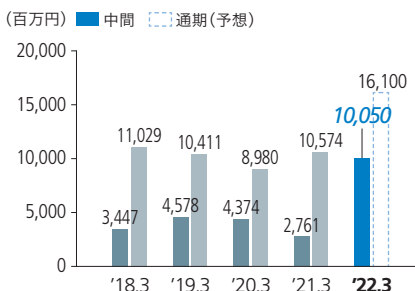
営業利益



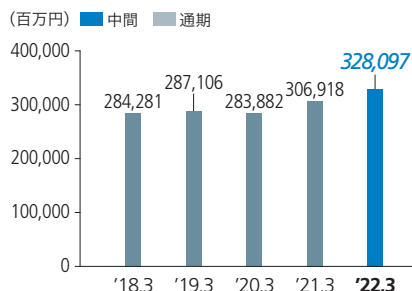
経常利益



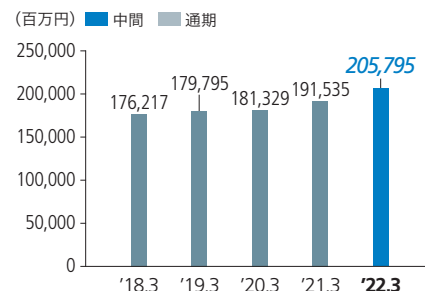
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産

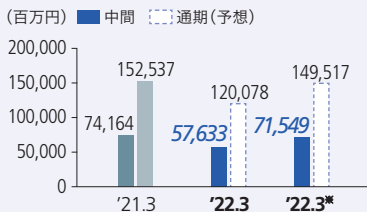


(注) 2019年3月期より税効果会計基準の一部改正を適用しており、2018年3月期の数値については一部組み替えて表示しています。

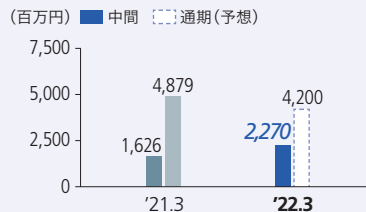
(注) 2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

宝酒造

売上高



営業利益

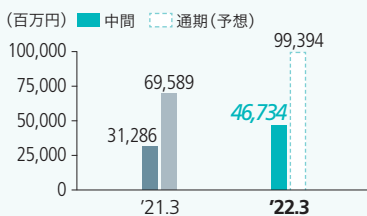


売上高は、緊急事態宣言期間が継続したことにより、清酒や焼酎を中心に厳しい状況が続いたことに加え、缶チューハイの自主回収の影響などもあり減収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の削減に努めたことで、対前期39.6%増となりました。

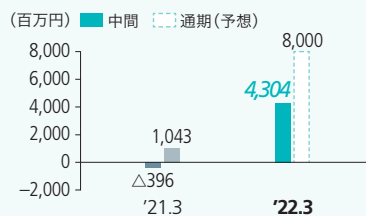
※収益認識に関する会計基準等を適用しなかった場合の参考値

宝酒造インターナショナルグループ

売上高



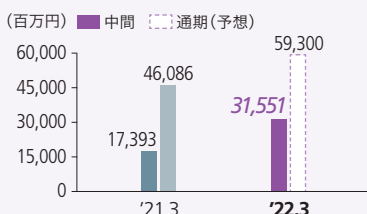
営業利益



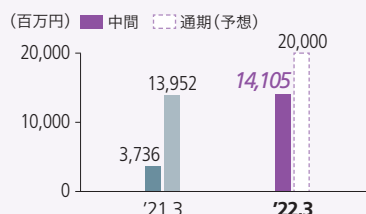
飲食店向け販売が好調に推移したことに加え、小売店やネット通販等の販売ルートが拡大したこともあり増収となりました。営業利益では、海外酒類事業での工場稼働率の向上や、海外日本食材卸事業での売上構成改善などにより、前期から47億円の増益となりました。

タカラバイオグループ

売上高



営業利益



売上高は新型コロナウイルスPCR検査関連製品の伸長に加えて、一般研究用の試薬も回復基調にあることなどから、試薬を中心に増収となりました。営業利益は、受託の原価率改善などにより、対前期277.5%増となりました。

会社情報 (2021年9月30日現在)

◆ 会社概要

商号	宝ホールディングス株式会社 (英文表記: TAKARA HOLDINGS INC.)
本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 TEL 075-241-5130
設立	1925年(大正14年)9月6日
資本金	132億2,621万5,144円
従業員数	184名(グループ連結:4,748名) (2021年3月31日現在)
連結対象会社	60社

◆ 取締役および監査役

代表取締役会長	大宮 久
代表取締役社長	木村 睦
取締役	仲尾 功一
取締役	村田 謙二
取締役	高橋 秀夫
取締役	森 圭助
取締役(社外取締役)	吉田 寿彦
取締役(社外取締役)	友常 理子
取締役(社外取締役)	川上 智子
常勤監査役	三井 照明
常勤監査役(社外監査役)	山中 俊人
常勤監査役	鈴木 洋一
常勤監査役(社外監査役)	松永 諭
監査役(社外監査役)	北井 久美子

◆ 株式の状況

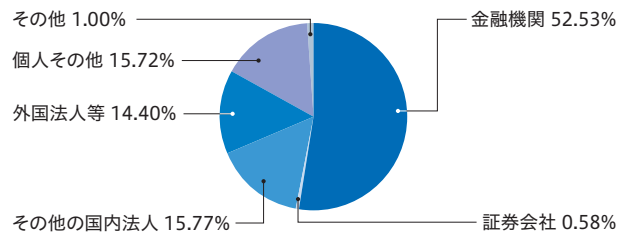
発行可能株式総数	870,000,000株
発行済株式総数	199,699,743株
株主数	32,448名

◆ 大株主(上位10名)

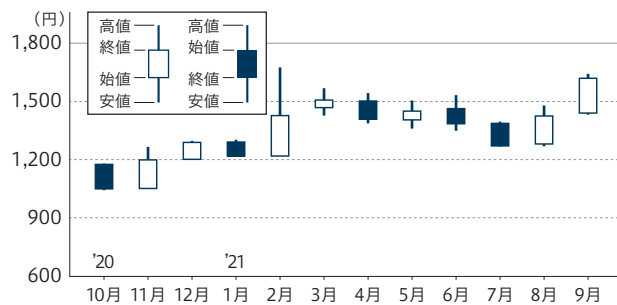
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	36,809	18.62
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	15,594	7.89
株式会社みずほ銀行	9,738	4.93
農林中央金庫	9,500	4.81
明治安田生命保険相互会社	5,370	2.72
株式会社京都銀行	5,000	2.53
国分グループ本社株式会社	3,489	1.77
宝グループ社員持株会	3,135	1.59
日本アルコール販売株式会社	3,000	1.52
東京海上日動火災保険株式会社	2,878	1.46

(注)1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 持株比率は、自己株式(1,995千株)を控除して計算しております。

◆ 所有者別株式分布状況



◆ 株価の推移



サステナビリティ News

統合報告書「宝グループレポート2021」を発行しました。

宝グループでは、2018年より統合報告書「宝グループレポート」を発行しており、この度「宝グループレポート2021」を発行しました。

「宝グループレポート」では、財務情報や事業戦略、ESGをはじめとする様々な課題に対する宝グループの取り組み状況を示しています。

今回のレポートでは、宝グループの価値創造プロセス、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」、当社グループのサステナビリティに関する基本方針「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」に加え、6月に公表しましたサステナビリティ・ポリシーに掲げる取り組み方針に基づく、具体的な中長期目標を設定した「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」を新たに紹介しています。

ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

▶ <https://ir.takara.co.jp/ja/Library/AnnualReport.html>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	● 定時株主総会(議決権行使)、期末配当 毎年3月31日 ● その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東証1部
証券コード	2531

公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。(https://www.takara.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株式に関するお問合せ先	以下の表をご覧ください。

主なお手続き、ご照会内容	お問合せ先
住所・氏名等のご変更 口座の残高照会 配当金の受取方法の指定	口座を開設されている証券会社等 (注) 特別口座に記録されている株式については、下記のみずほ信託銀行 証券代行部までお問合せください。
未払配当金に関するご照会 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 特別口座から一般口座への株式の振替手続 その他株式事務に関する一般的なお問合せ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話番号(フリーダイヤル): 0120-288-324(土日・祝日を除く平日9時~17時)

特別口座で株式を保有されている方へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場での売買はできません。株式市場における株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座からの株式の振替手続が必要となります。

単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して、次の請求を行うことができます。

1. 単元未満株式の買取りを請求する(買取請求)
2. 単元株式(100株)にするため、不足する株数の株式の売渡しを請求する(買増請求)

お問合せ先

- 証券会社の口座で管理されている単元未満株式
- ▶ 口座を開設されている証券会社
- 特別口座で管理されている単元未満株式
- ▶ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度について

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式100株以上を保有されている株主様を対象とした株主優待制度を実施しています。
ご案内は、毎年6月上旬にご送付しております定時株主総会招集ご通知に同封してお送りいたします。

● ご優待内容

当社株式の保有数に応じて優待品を年1回贈呈いたします。

100株以上1,000株未満	1,000円相当
1,000株以上	3,000円相当

上記金額相当の酒類詰め合わせ、調味料詰め合わせより1点選択(優待品に代えて社会貢献活動への寄付も選択可)

※ 本年度実施分の申込み受付は終了いたしました。

<社会貢献活動への寄付実績ご報告>

本年度は、株主の皆様よりお申込みいただいた結果に基づき、次のとおり寄付を行いました。
ご賛同いただきました株主様に対し、厚くお礼申し上げます。

公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」	459,000円
日本赤十字社	1,052,000円

ウェブサイトのご案内

宝ホールディングスのウェブサイトでは、ニュースリリースやIR情報など、最新の情報を掲載しています。また、グループ各社のウェブサイトでは、商品や事業の詳しい情報をご覧いただけるほか、オンラインショップもご利用いただけます。

www.takara.co.jp



(注) この報告書に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、実際の業績等は、予期しない経済状況の変化をはじめさまざまな要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキと、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および再生資源から作られた紙を使用して制作されています。